

身体障害者診断書・意見書（呼吸器機能障害用）

総括表

氏 名	年 月 日 生 () 歳	男 ・ 女
住 所		
① 障害名（部位を明記）		
② 原因となった 疾病・外傷名		
交通・労災・その他の事故・戦傷・戦災 自然災害・疾病・先天性・その他 ()		
③ 疾病・外傷発生年月日		
年 月 日・場 所		
④ 参考となる経過及び現症（エックス線写真及び検査所見を含む。）		
障害固定又は障害確定（推定）		
年 月 日		
⑤ 総合所見		
[軽減化による再認定 要 ・ 不要] [再認定の時期 年 月]		
⑥ その他参考となる合併症状		
上記のとおり診断し、併せて以下の意見を付します。		
年 月 日		
病院又は診療所の名称		
電 話 ()		
所 在 地		
診療担当科名		
科 医師氏名		
身体障害者福祉法第15条第3項の意見		
障害の程度は、身体障害者福祉法別表に掲げる障害に		
・該当する () 級相当)		
・該当しない		
※「該当する」「該当しない」の選択及び意見等級は、必ず記入してください。		
注 1 障害名には、現在起こっている障害、例えば両眼視力障害、両耳ろう、右上下肢麻痺、心臓機能障害等を記入し、原因となった疾病には、緑内障、先天性難聴、脳卒中、僧帽弁膜狭窄等原因となった疾患名を記入してください。		
2 総合所見には、今後の症状変動の可能性（重度化・軽減化）や、軽減化による再認定の必要性（必要な場合はその時期）も必ず記入してください。		
3 障害区分や等級決定のため、改めて身体障害者診断書・意見書の記入内容について問い合わせる場合があります。		
4 程度変更に伴う再申請については、新しく追加となる障害内容の記入のみではなく、現在の手帳の障害内容についても障害が存在していれば、併せて診断書に記入してください。		

(該当するものを○で囲んでください。)

1 身体計測

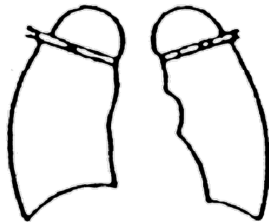
身長 cm 体重 kg

2 活動能力の程度

- ア 激しい運動をした時だけ息切れがある。
- イ 平坦な道を早足で歩く、あるいは緩やかな上り坂を歩く時に息切れがある。
- ウ 息切れがあるので、同年代の人より平坦な道を歩くのが遅い、あるいは平坦な道を自分のペースで歩いている時、息切れのために立ち止まることがある。
- エ 平坦な道を約100m、あるいは数分歩くと息切れのために立ち止まる。
- オ 息切れがひどく家から出られない、あるいは衣服の着替えをする時にも息切れがある。

3 胸部エックス線写真所見 (年 月 日)

- ア 胸膜癒着 (無 ・ 軽度 ・ 中等度 ・ 高度)
- イ 気腫化 (無 ・ 軽度 ・ 中等度 ・ 高度)
- ウ 線維化 (無 ・ 軽度 ・ 中等度 ・ 高度)
- エ 不透明肺 (無 ・ 軽度 ・ 中等度 ・ 高度)
- オ 胸郭変形 (無 ・ 軽度 ・ 中等度 ・ 高度)
- カ 心・縦隔の変形 (無 ・ 軽度 ・ 中等度 ・ 高度)



4 換気機能 (年 月 日)

- ア 予測肺活量 □ . □ □ L (実測肺活量 □ . □ □ L)
- イ 1秒量 □ . □ □ L (実測努力肺活量 □ . □ □ L)

- ウ 予測肺活量1秒率 □ □ . □ % (= $\frac{\text{イ}}{\text{ア}} \times 100$)

(アについては、下記の予測式を使用して算出してください。)

肺活量予測式 (L)

男性 $0.045 \times \text{身長 (cm)} - 0.023 \times \text{年齢 (歳)} - 2.258$

女性 $0.032 \times \text{身長 (cm)} - 0.018 \times \text{年齢 (歳)} - 1.178$

(予測式の適応年齢は男性18-91歳、女性18-95歳であり、適応年齢範囲外の症例には使用しないでください。)

測定困難な場合はその理由

